

たぐろ

TAKUSUI
No. 758

12
December.2019

発行（一財）兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



虹の仲間であそび（神戸市西区）

令和元年度兵庫県水産賞 受賞者決定

瀬戸内海環境保全セミナー

《今月の海上安全標語》～ 近年は秋が短く、夏から一気に冬になる体感ですが。～
ライフジャケット（LJ）は、夏は涼しくメッシュで軽いものが多いですが、厚手のLJはあたたかい。
季節に合ったLJを着てみませんか？

冬の海 季節に合った **LJ**

ライフジャケ
では、今月も安全操業で！

ようそろ

「ずっと真っ直ぐに」

(ようそろとは航海用語で「宜しく候」の意。主に船を直進させるとききの号令として使われる)

早生ちゃんといっしょ

兵庫県漁港漁場協会 森脇 早苗



兵庫県漁港漁場協会に勤務して18年になります。森脇と申します。年数だけは長いのですが、事務所が神戸市中央区にあるため、系統の方々にお目にかかる機会が余りなかったのですが、先日、水産振興基金のF業務課長様と二日間親しくさせていただく機会があり、このような華々しい場に登場させていただくこととなりました。皆様よろしくお願い致します。

まず、タイトルの「早生ちゃんといっしょ」とは何のこと?と思われたでしょう。『拓水9月号』に掲載の岡田 早生様の記事を読んだ時のワタクシの衝撃!同じなのです。私も左右が咄嗟にわからないのです。早生ちゃん、ここに仲間がいますよ。

元々は左利きです。幼い頃に父にスパルタでお箸と筆記は右利きに矯正されました。左右が認識できないことは影響しているかもしれないと友人にいわれました。

急に右とか言われた場合は、頭の中で、こつちが右と考えてから行動します。視力検査も予め左右を確認しておきます。車のウインカーは、上が左で下が右です。

厄介なのは胃透視の検査です。受けたことのおありの方ならご存知でしょうが、シーソーみたいな台の上に乗る、バーを握った不安定な状態です。そんなワタクシに、技師さんが「右に1回転して」とか「左斜め45度」などと波動的に難題を投げかけてくれるのです。緊張も加わり、まともに動けるはずがごさいません。以前、違う方向に回って、技師さんに「違う!逆!」と叱られてしまいました。怖かったです。最近、最初の一言目の指示で逡巡していたら、次の指示からは「僕の方に向かって回って」と言っただけで下さるようになりました。もしかして、健診機関でブラックリストに載っているのではないかと...

同類の友が一人います。車で一緒に出掛ける時にわたしが助手席でナビをするのですが、右折左折と言っても、「どつち?」と返ってくるので、左折の時は「私のほう。こつち」。右折の時は「そつち」と言います。そんな状態なので、当然カーナビなどは利用できないのです。カーナビは「こつち、そつち」とは言ってくれませんが、因みに、この友人は左利きではなかったはずなのですが。

さらに私は、顔認証システムも搭載されていないのです。どうやら母の胎内に置き忘れてきたようです。若しくは性能が極めて悪いのかもしれませんが。これに至ってはもう諦めていますし、最近発覚したのですが、父の遺伝みたいです。

漁港漁場大会で年に一度お目にかかる方は勿論のこと、「わし去年も一昨年も来とうで」と、漁業者様にも大変な失礼をしております。誠に申し訳ございません。

掲載月は12月号と伺っています。皆様少し早くりますが、よいお年をお迎えください。

CONTENTS

No.758 December, 2019

- 2 ようそろ
- 3 兵庫県水産賞 受賞者決定
瀬戸内海環境保全セミナー 開催
- 4 第70回 全国漁港漁場大会への参加と政府等への予算要望活動
- 6 室津小 郷土料理給食会 開催
虹の仲間で森づくり
- 7 兵庫県水産系統団体役員OB会総会
香美町と活隊 わだやマーケット出展・料理教室開催
- 8 神戸海上保安部・姫路海上保安部からのお知らせ
- 9 兵庫JCC通信
- 10 旬に想う
大輪田塾だより



表紙の言葉

「虹の仲間で森づくり」(神戸市西区)

今年も多くの人が参加した「虹の仲間で森づくり」。

この森で活動初期に除伐作業が行われた辺りは、クマザサも無くなり、日が差し込むようになっています。日が差し込めば花が咲き、虫も集まり、小鳥も集まる豊かな森になるそうです。豊かな森の栄養が池に溜まり、川を通じて海へ流れ出す。豊かで美しい海と山を明日に繋いで行くこの活動が継続することを願います。

県農林水産業の功労者表彰

“令和元年度 兵庫県水産賞” 受賞者決定



受賞者の皆様(前列 左から森本様ご夫妻、磯田様ご夫妻、戎様ご夫妻)

永年にわたり農林水産業の振興発展に貢献された個人や団体に贈られる兵庫県農業賞・林業賞・水産賞の3賞表彰式が、11月29日(金) 県公館(神戸市中央区)で行われました。

今年度の兵庫県水産賞はJF神戸市森本明さん(56)、JF仮屋 戎 義明さん(65)、JF但馬 磯田 和志さん(71)の3名の方が受賞されました。表彰式では井戸敏三知事から表彰状ならびに記念の盾が贈られました。受賞されました皆様には、心よりお慶び申し上げます。

氏名	所属	功績内容
もりもと 明 森本 明	J F 神戸市	のり養殖業の振興と漁協経営の安定化への貢献
えびす 義明 戎 義明	J F 仮屋	漁協経営の安定化と操業安全の推進への貢献
いそだ 和志 磯田 和志	J F 但馬	沖合底びき網漁業の振興と漁協運営の安定化への貢献

(敬称略)

瀬戸内海環境保全セミナー開催

兵庫県は11月14日(木)、神戸市のラッセルホールにおいて、ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会等と共催で、『瀬戸内海環境保全セミナー』海に必要な栄養とは？』を開催しました。県議会議員をはじめ、瀬戸内海沿岸の漁業関係者や自治体関係者など、約200名の参加のもと、豊かで美しい瀬戸内海の再生について考えるため、県の取組の説明と講演がおこなわれました。

主催者である兵庫県農政環境部 田中基康環境部長による挨拶の後、兵庫県農政環境部環境管理局 菅野昭局長から兵庫県内の取組として、兵庫県内の瀬戸内海沿岸域の水質の状況や、条例改正により設定された海域における窒素とリンの水質目標値(下限値)および、今後見直しを予定している下水処理場の生物化学的酸素要求量(BOD)の上乗せ排水基準の内容についての説明がありました。

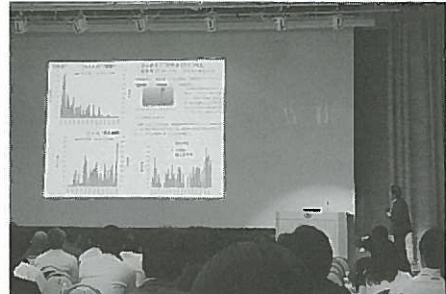
続いて、『内海の生態系維持に必要な水質(栄養量)』と題して、京都大学の藤原 建紀名誉教授から御講演いただきました。「瀬戸内海域に流入する窒素やリンなどの栄養塩の量は大きく減っており、そのことが漁獲

量減少につながっている」、「旧世代型の水質管理はほぼ完了に近づいており、環境省の論点整理にもあるような、新しい時代の生態系管理へ向かうことを期待している」など興味深い内容でした。

最後に、共催のひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会 突々 淳会長(JF兵庫漁連専務理事)から、豊かな海の必要性を理解してもらうため、継続した取り組みが必要との挨拶を受け閉会となりました。

当日の発表資料は、本セミナーを共催したひょうご環境保全連絡会のホームページに掲載されています。

【ひょうご環境保全連絡会】新着情報 ↓ 「瀬戸内海環境保全セミナー」海に必要な栄養とは？』が開催されました」
<http://hecajp/activities/1362/>



藤原教授の講演の様子

第70回

全国漁港漁場大会への参加と

政府等への予算要望活動

〔第70回全国漁港漁場大会への参加〕

10月29日（火）、広島県福山市ふくやま芸術文化ホール（リーデンローズ）において、「第70回全国漁

港漁場大会」が開催され、兵庫県漁港漁場協会から浜上勇人会長（香美町長）をはじめ27名が参加しました。

大会は14時に開会し、約1,400



人が全国から参加しました。橋本牧公益社団法人全国漁港漁場協会会長による主催者挨拶、伊東良孝農林水産副大臣、衛藤征士郎漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長などによる来賓祝辞がありました。その後、枝廣直幹広島県漁港協会会長（福山市長）が議長に選出され議事が進められました。付議議案「令和2年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」について、泥谷光信高知県漁港漁場協会会長（土佐清水市長）が提案理由を説明しました。

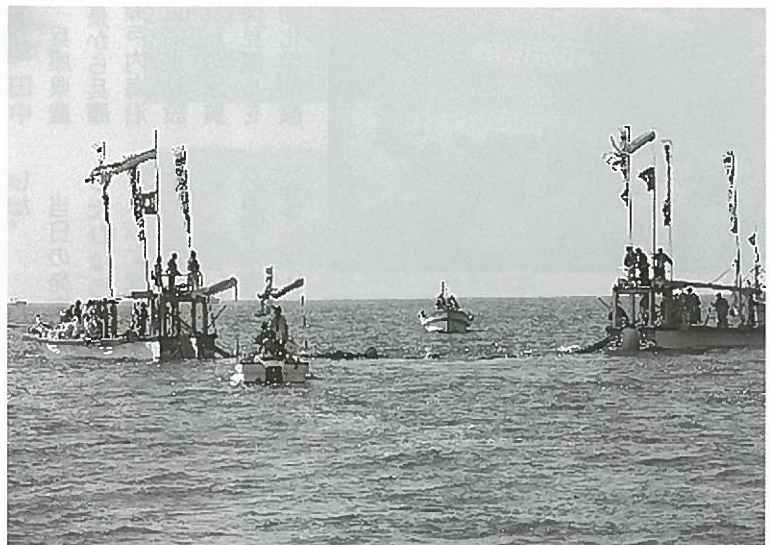
続いて議案に関連した4件の取組事例の発表の後採択に入り、本議案は満場一致で議決されました。続いて、議決された内容を取りまとめた提言案を渡邊冬彦広島県漁港協会監事が朗読し採択されました。この採択された提言をもとに、政府及び各都道府県の地元選出国會議員等に働きかけ、提

言事項の実現に努めることを参加者の賛同を得て決定し、議事が終了しました。2020年の第71回全国漁港漁場大会は北海道函館市で開催されることが決定しており、高橋昌幸北海道漁港漁場協会会長（神恵内村長）が挨拶をされ、大会は無事終了しました。

29日は、鞆の浦に宿をとりました。ここは、東西から潮流がぶつかりあう瀬戸内の要地であり、潮の満ち引きを待つ人々にぎわった港で、江戸期の港湾5施設（常夜灯、雁木、

船番所跡、焚場跡、波止）が今もそびえている唯一の港であります。また、街並みは重要伝統的建造物群保存地区に指定され、貴重な建造物が数多く残されているところでもあります。

30日は、2か所の施設等を視察研修しました。鞆の浦に約380年伝わる「鯛しばり網漁法」を見学しました。380人以上の大会参加者が2隻の観覧船に乗り込み、船上から漁を観覧し、網に入った魚を見るこ





とができました。本来は、毎年5月に鞆の浦の初夏の風物詩として行われておりますが、「全国漁港漁場大会の視察のために対応」としていただいたようです。下船後は常夜灯や雁木などの施設を見、古い街並みを散策し、次の視察先へと行きました。

内海大橋の完成により陸続きとなった田島にある内海フィッシャリーナ及びクレセントビーチを視察しました。フィッシャリーナでは同等民間施設に比べて艇置料金が高いため利用率が芳しくない、また、クレセントビーチでは人工海岸である

ため年4回ほど陥没などの確認を行うなど安全対策には務めているが、砂粒が大きくて素足では痛く、近隣民間ビーチのようなイベントに乏しいなどの課題を抱えており、現在課題解決に取り組んでいるとのことでありました。

来年の第71回全国漁港漁場大会は北海道函館市で開催されます。多数のご参加をお待ちしております。

(政府等への予算要望活動)

10月29日の全国漁港漁場大会で採択された提言については、8月27日



の第59回 兵庫県漁港漁場大会で決議された4項目とあわせて、11月6日(水)に兵庫県漁港漁場協会役員及び関係者が衆議院議員及び参議院議員の兵庫県選出国會議員に直接要望活動を行いました。

兵庫県水産振興議員連盟役員へ
要望書提出

第59回 兵庫県漁港漁場大会決議事項の実現を要望

令和元年11月19日(火)、

兵庫県水産振興議員連盟役員(会長 永田 秀一)と兵庫県漁港漁場協会役員(会長 浜上 勇人)との懇談会が開催されました。

兵庫県水産振興議員連盟からは、永田 秀一会長、黒田 一美副会長、岸本 かずなお副会長、松本 隆弘事務局長、伊藤 勝正幹事の5名の議員のご出席をいただき、兵庫県漁港漁場協会からは、浜上 勇人会長、長濱 泰之淡路市副市長(門 康彦副会長代理)、事務局長の3名が出席しました。さらに兵庫県からも石井 龍太郎農林水産局長、

長島 浩水産課長、前川 広治漁港課長の出席をいただき、令和元年8月27日の第59回 兵庫県漁港漁場大会において決議された「漁港漁場整備長期計画の推進と令和2年度予算の確保」など4項目の決議事項の実現に向けて、浜上会長から永田会長に要望しました。引き続き、豊かな海づくりの現状などについて熱心な意見交換が行われました。



郷土料理給食会 開催される たつの市立室津小学校



11月19日(火)、たつの市立室津小学校で「郷土料理給食会」が開催され、全生徒が室津で水揚げされる新鮮な魚や地元の野菜を使った、郷土料理づくりにチャレンジしました。この給食会はJF室津(中川 照央組合長)やJF室津女性部(山田 奈保美部長)、地域の方々が町ぐるみで取り組んでおり毎年恒例の行事となっています。

JF室津女性部などの指導により、生徒達は説明を受けながら、一生懸命調理に取り組んでいる様子でした。お昼に同校の体育館で、骨せんべい、酢大根、とつとはるまき、

地元で伝統の「友君ようかん」、また、シーフードカレーライスなど、ポリウム満点の室津産旬食材の郷土料理が保護者、学校関係者、地域の方々へ振舞われました。



給食会では、6年生による修学旅行の報告や、女性部員による、現在の瀬戸内海の状態や豊かな海についての、漁業者目線のユーモアあふれる演劇が披露され、生徒や地域の方々は楽しみながら感心を深めていました。

室津小学校と同女性部が始めたこの会は、生徒だけでなく地域の方々にも室津地区の地産地消や文化などを知ってもらえる行事として大きな役割を担っています。今後も地域の方々の協力を得ながら、生まれ育った郷土の豊かさを発信し続けてほしいと思います。

「虹の仲間」で森づくり 神出神社(神戸市西区)周辺で開催

漁業者と消費者が共に手を携えて、豊かな海を支える森を育てていくことを目的に、コープこうべとJF兵庫漁連が共同で取り組んでいる「虹の仲間で森づくり」は今年で13回目の開催となります。



快晴に恵まれた11月30日(土)、神戸市西区にある雌岡山(神出神社周辺)に県内各地からJFグループ関係者、コープこうべの会員や行政関係者など約170名が集まりました。JF兵庫漁連 突々 淳専務の挨拶、ひょうご森の倶楽部 高橋 新太郎副会長より作業の注意事項説明の後、全員で準備運動を行いました。この後、ヘルメット姿の参加者は17班に分かれ、NPO法人「ひょうご森の倶楽部」の指導員の皆さんに誘導され、次々に森に入りました。

作業について指導員の方から説明を受けた後、参加者は周囲に気を配りながら、広葉樹や花の咲く樹を残し、常緑樹や蔓性の植物を次々に除伐し、クマザサなどの下草も刈り取りました。約1時間半の作業を終えると、地面を覆っていたクマ

ザサも無くなり、太陽の光が差し込み、見通しの利くきれいな森になりました。作業を行った皆さんは「目に見えて日が差し込むようになった」と嬉しそうに話していました。

この後、兵庫のりを使った巻き寿司、カキの味噌汁等が振る舞われ、同じ班のメンバーと楽しい昼食の時間を過ごしました。

森の中で、木を切る」という作業なのですが、たいへん「おもしろい」という感想が多く、何度も繰り返し参加頂いている方が多い活動です。皆様も一度、是非参加してみてください。



陽の入る森になりました

令和元年度 兵庫県水産系統団体

役員OB会総会

11月15日(金)、兵庫県水産会館において「令和元年度兵庫県水産系統団体役員OB会総会」が開催され、会員23名が出席しました。

開会にあたり、出席者一同は、この一年間に亡くなられた会員に対して黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りいたしました。その後、戸田幹事長は「昨年、漁業法が改正され、水産業は大きな転機を迎えており、我々OBも力になれるよう頑張っていきたいと思います。今年もお忙し中、皆様にご参加いただき、大変うれしく思います。今後一人でも多くの方の参加をお願いします。年に一度の懇談の場合なので、大いに旧交を温めてもらいたい」と挨拶をされました。

戸田幹事長が議事進行を行い、議案の収支決算報告及び収支計画は原案どおり承認されました。

幹事の改選では、7名の幹事が選出され、戸田幹事長から、「OB会を盛り上げていきます。」と挨拶がありました。

○新幹事…榎並晴広氏、奥田博己氏、沢辺義典氏、戸田氏認氏、



参加者全員での記念撮影

富永剛行氏、山口徹夫氏、山里昌行氏

続く懇親会は田尻重孝氏の乾杯の音頭により幕が上がリ、終始和やかな雰囲気の中、時間の経過も忘れて歓談がすすみました。

最後に山里副幹事長から「元気で、また来年会いましょう」と力強い閉会の挨拶があり、懇親会は終了いたしました。(文：JF兵庫漁連)

香美町とと活隊 わだやマーケット出展・料理教室開催

水産業の発展と魚食普及を目的に、全国で初めてとなる「魚食の普及を推進する条例」を制定した美芹郡香美町の「香美町とと活隊(濱上栄作隊長および隊員20名)」は、令和元年11月23日(土)に兵庫県立和田山高等学校で行われた「第3回わだやマーケット」に参加しました(画像上)。

絶好の小春日和の下、行われたこのイベントは、和田山高校生たちが地域連携・交流をとおして開かれた学校づくりを行う等の目的で開催されており、同校の教諭とのつながりで同隊が第1回目から参加しています。

山間部の高校生や一般の方たちに広く魚の美味しさや魚食の大切さをPRしたいとの思いから、同隊のブースでは、干物や練り製品の販売が行われ、「ものづくり研究」選択の生徒たち(自称・とと活隊和田山支部)がサザエ釣りコーナーを担当してくることに、パーテーションにサザエについての説明書や履歴書ならぬ魚歴書(ぎよれきしよ)等を貼り付けてくれて大いに盛り上

げてくれました。また、セコガニ汁を無料(原価高いのに・笑)で提供、大人気でした。

また、11月27日(水)には、香美町村岡区中央公民館にて全国初のとと条例施行の町である香美町役場女性部を対象に料理教室を開催し、マダラ(ソテー)やマガレイ(刺身)、赤バイ・白バイ(同)、セコガニ(ポイル)の調理を行いました(画像下)。

原田敦行隊員がマガレイや赤バイの刺身の造り方、盛り付け方の見本を見せると受講者から思わず喚声が上がりました。どれも高級食材ですので職員も隊員も終始テンションが高かったようです。「魚離れ」を食い止めるには若い年代の方たちに魚を捌く面白さ、魚食の大切さを地道にPRすることが肝要だと思いい、これからも魚食普及頑張っていきます。



海苔養殖施設保護のために

～「みえなア缶」で施設を明示しましょう～

詳しくは姫路海上保安部ホームページをご覧ください

改訂版 空き缶レーダー反射器「みえなア缶」の作り方



ホームページ

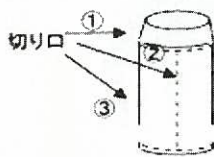
用意するもの

・500mlのアルミ缶3個 ・アルミテープ(アクリル系粘着材のもの) ・工作用ハサミ ・カッター ・千枚通し

所要時間は約50分
(慣れれば約30分です。)

作り方

1 アルミ缶をカッター及びはさみで板状に切り開きます。3個のアルミ缶で同じものを3枚作ります。



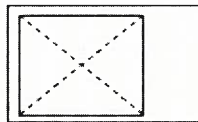
①カッターで切り目を入れてはさみを差し込んで上部を切り離します。②次に1箇所垂直に切り目を入れます(缶の模様に沿って切ると良い。)。③底まで切れたらはさみの角度を変えて底の部分を1周切り、底を切り離します。



2 広げたアルミ板から、1辺13cm正方形を3枚作ります。(定規と千枚通しを使って印をつけ、ハサミで切り取ると綺麗に切り抜けます。)

正方形には右図の点線のように、対角線に千枚通しで軽く目印の線を引きます。(注:アルミが薄いので強く線を引くと、切れてします。)

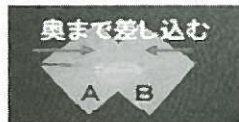
【以下 判り易くするため、色紙にて表示します】



3 2で印を付けた対角線上に右図A(中心までと反対側の中心より半分まで)、B(中心まで)、C(中心を越えて3/4の位置まで)のようにそれぞれハサミで切り込みを入れます。



4 AとBの緑線部分を奥まで差し込んで一体となるように合わせ、Aの緑線部分とBの合わせ目にアルミテープ(赤色部)を張り十字になるように開きます。



5 4で開いたBの切り込みを入れた方を対角線部分からそれぞれ左右どちらか同じ方向に90度折り曲げます。



アルミテープ

Bの切り込みを90度折り曲げる

6 Aの青色切り口からC青色切り口を差込みます(左図参照)。差し込んだCの中心から下を5で折り曲げたBの切り込み部分と逆に90度折り曲げてBの折り曲げ部分と同一面になるようにします。



CをAに差込み切り込みをBと反対に90度折り曲げる

7 各面の合わせ目をアルミテープで固定します。



350mlのアルミ缶で作る方法



500mlのアルミ缶で作る方法

神戸海上保安部航行安全課
姫路海上保安部交通課

タマネギの周年販売体制の確立と 生産拡大に向けた支援

JA兵庫西では、直売所で年間を通じてタマネギを販売できる体制を構築しています。主に大規模農家を対象として、タマネギの買取販売や生産拡大の支援を行い、農家の所得向上を実現しています。タマネギを買取販売の品目にした理由は、年間を通じて消費者の需要に合わせた販売が可能で、販売価格を維持できるからです。

買い取ったタマネギはJAが整備した貯蔵庫で保管・管理し、消費者のニーズに応えながら出荷しています。また、全量買い取るため、所得は安定し、農家は安心して生産を続けることができます。

生産面では、播種から収穫までの機械化一貫体系を実現するため、農機の貸し出し体制を整えました。機械化によって作業の負担が少なくなるのはもちろん、農機の運搬や維持管理をJAが行うため、農家はさらに時間とコストを抑えることができます。このほか、営農指導員による、売れやすいタマネギをより効率よく生産するための指導も行います。

このようなJAの支援体制によってタマネギの栽培面積と収量は、買取販売を開始した平成29年度では3.6ha、144トンだったものが、令和元年には16ha、685トンまで拡大しました。

JAでは、生産の維持やさらなる拡大に向けて、担い手農家の育成にも取り組むほか、販路と消費の拡大にも力を入れています。



買い取り後のタマネギを貯蔵庫で保管

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

第22回兵庫県・兵協連共催 「監事研修会」を開催

11月7日(木)、兵庫県民会館において兵庫県・兵庫県生協連共催による「第22回監事研修会」を開催しました。この研修会は、生協運営の健全な発展に果たすべき監事の役割と監査の実務のあり方を学び、生協運営を実施していただくことを目的に計画したもので、当日は、8会員生協・2会員外生協から14名が参加しました。

はじめに、兵庫県企画県民部県民生活局消費生活課の奥見知子主幹から「生協の指導検査を実施して」と題して、内部管理態勢についての監査ポイント等、事例を交えながら、分かりやすくご講義いただきました。

次に、日本生協連総合マネジメント本部法務部の宮部好広部長から「業務監査の考え方と実際～監査調書から監査報告へ」と題して、監事の職務の基本を確認しながら、監事監査の環境整備の重要性や業務監査の内容・考え方などについてご講義いただきました。また、

後半のグループディスカッションでは、自生協の監査状況などの情報交換を行いました。参加者からは「どちらの講義もポイントが絞られており、よく理解できた」「監事としての視点を再確認でき、具体的な説明が大変参考になった」などの感想が寄せられました。



兵庫県 企画県民部 県民生活局 消費生活課 奥見 知子主幹



日本生協連 総合マネジメント本部 法務部 宮部 好広部長



<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



旬に想う

写真と文
遊方子

平平凡凡

◆ 空気の如き存在。気の旧字体「氣」は、乞に横棒一本を入れて「氣」が作られ空気という意である。偏としてはキガマエで、これに米を加えて「氣」の字になる。だから本来は食べ物を表している。空間も空虚では無く、気が流れており食べ物ともいえる有り難い存在が、空気なのだと思う。水や空気は在って当然のように無意識に享受しているが、本来は感謝しつつ拝受すべきものかも知れぬ。妻帯し家事を任せる、食事時には食べものが整えられ、席について賞味する。女房とは有り難い存在だと、心底から感謝しつつ戴いてはいるが…。

◆ 昔「平凡」という大判の月刊誌があった。我が家では定期的に購読していた唯一の雑誌だが、表紙は当時の人気女優が笑っている写真、巻頭グラビア頁には映画のステール写真や歌手のポートレートが満載の造りで、読む本というより、見るための娯楽雑誌だった。映画よりも歌に人気があった時代で、付録の歌謡曲集が嬉しく、最新ヒットソングの掲載を喜んだ。「悲しき口笛」が連載されて映画になり、美空ひばりが登場した。歌も演技も旨く多くのファンを掴んで大ヒット、誌上でも圧倒的なスターだった。手塚治虫の連載漫画「夢みる夢子」も愉しかった。戦後の辛い世相を、少し明るく過ごせたように思う。

◆ 時々刻々と死に近づく物を例えて「屠所の羊」という。此の諺は殺されるかも知らず嬉々と行く羊のことだが、それは老病死苦の迫るの知らぬ凡人の暮らしをも表している言葉でもある。家族に病人が出たり当人が怪病をしたり、日常生活に何か支障が起きる。これは大事件だが、楽しい事が起きた方が幸せと考えるのは間違いでは有るまいか。嬉しい事や楽しい事が、日常にそんなに多くある物じゃない。毎日が同様な繰り返し、此れほど幸せな平和があるだろうか。羊のように生きる。此れは意外に難しい。そう思わぬ人も多いだろうが、平平凡凡の暮らしが一番なのだ。この考え方はやや古臭いやかも知れぬが…。

◆ 「死ぬまでは生きて」「高橋義孝氏の書いた色紙の文句だ。確かに我々は死ぬまで生きていく。「犬が西向きや尾は東」と同様、平凡自明な文句であるが、何となく味があり痛快な気分になる。TV放送はデジタル化で画像が実に鮮明になったが、番組自体は全体にお粗末だ。民放はCMが煩わしく、実にしつこく始末に悪い。世は住み難く喜び事は少ない。平凡でも比較的充実した中に生き甲斐が見える。小津安二郎の『麦秋』で老夫婦の交わす台詞「今が一番楽しい時かも知れない」「これからだつて…」「欲を言やア切りがないよ」「今が一番よいのかも知れない、そう思つてやり切るしかないのかも知れぬ。」

大輪田塾だより

「兵庫県の海と漁業」と 「栄養塩環境と漁業」

11月26日(火)、新たに入塾した15期生を迎え、大輪田塾が開講されました。

第1部の「兵庫県の海と漁業」では、兵庫県農政環境部水産課 望月 松寿副課長より、瀬戸内海と日本海の2つの海を持つ兵庫県の漁業種や漁業生産量の推移をはじめ豊かな海を取り戻すための活動内容について説明を受けました。

第2部の「栄養塩環境と漁業」では、大輪田塾アドバイザーでもある反田 實県水産技術センター参与より、生物生産の基礎知識から瀬戸内海全域の環境基準と類型指定の変化やイカナゴ漁獲量減少を例とした栄養塩環境について説明を受けました。

塾生は、兵庫県下で営まれる漁業種類についてや栄養塩・水温など海の環境変化について学ぶとともに、豊かな海を取り戻すための様々な施策についての知識を得る有意義な講義となりました。



反田参与の講義



望月副課長の講義